

特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会
第11回通常総会議事録

- 1 日 時 平成23年6月4日 午後13時15分
- 2 場 所 東京グランドホテル 3F 蘭の間
- 3 出席者数 26名（欠席者のうち 議決権行使者数 45名、表決委任者数 14名）

4 審議事項

- (1) 第1号議案 平成22年度活動報告、及び決算承認の件
- (2) 第2号議案 平成23年度活動計画案、及び予算案審議の件
- (3) 第3号議案 新役員選任の件

5 確認事項

議決権を有する正会員総数は156名、本通常総会では

- 出席者数：26名
- 議決権行使者数：45名
- 表決委任者数：14名

以上により、計 85名の議決権を確保

- ・ 従って、定款第27条に基づく総会定足数52名を満たしていることを確認。
- ・ 定款第26条により、議長は会長 土屋 雅彦 がこれに当たる。
- ・ 定款第30条により、書記が指名され、正会員 平山 剛士 がこれに当たる。
- ・ 定款第30条により、議事録署名人が指名され、正会員 木村 一夫 がこれに当たる。

6 議事の経過の概要及び議決の結果

会長 土屋 雅彦 が開会を宣し、議事に入った。

尚、議長より第2号議案と第3号議案の順番を入れ替えることが提案され了承された。

- (1) 第1号議案 平成22年度活動報告、及び決算承認の件
- ・ 議長は平成22年度の活動状況について説明。
 - ・ 泉澤理事（会計部会長）は平成22年度の決算について説明。

質問1-1 貸借対照表中の基盤整備積立金の趣旨の説明を願う。

余った予算は剰余金としてそのまま残しておいてもよいのではないか？（糸原会員）

回答1-1 基盤整備積立金は平成18年度より行われている剰余金の会計処理法である。

18年度に事務所移転に伴う不定期な出費が発生した際、将来の不測の出費への不安を感じた。そこで、繰越金をその使用にあたって総会の承認が必要な基盤整備積立金へ回すことにし、別口座にて運用することにした。

NPOなのだから予算を全額使い切るのが理想ではあるが、非常時のための予算を準備しておきたかった。（土屋会長）

意見 1-1 黒字の収支報告は理事の方々の努力の成果であり大変素晴らしい。

しかし年間予算 500~600 万円の協会に 300 万円もの整備金が必要なのだろうか？
予算が余っているならば、会員のためになる更なる有効活用など色々と議論して頂きたい。
(糸原会員)

- ・ 議長は下記の書類について、監事による監査報告を確認すると共に、審議承認を求めた。
 - ア. 事業報告
 - イ. 収支計算書
 - ウ. 正味財産増減計算書
 - エ. 貸借対照表
 - オ. 財産目録
- ・ 議長が承認を求めたところ、賛成多数で承認可決された。

(2) 第 3 号議案 新役員選任の件

- ・ 議長が新役員選任について説明。
- ・ 新任役員 4 名を含め、賛成多数で承認された。また、新役員は全員、その場で就任を承諾した。
新役員は以下の通り
理事 土屋雅彦、神野秀基、青木豊加、金城隆、西川理、川村武也、岩下哲、木村一夫
阪井敦 (以上再任)
竹政一夫、平山剛士、正岡久和 (以上新任)
監事 日野隆 (再任)、丹下稔章 (新任)

(3) 第 2 号議案 平成 23 年度活動計画案、及び予算案審議の件

- ・ 土屋理事 (新会長候補) が平成 23 年度の活動計画および平成 23 年度の予算について説明。

質問 1-1 平成 23 年度予算案では教育事業費が増額されているが、機関紙発行などの調査費が減額されている。今後寧ろ調査研究には費用をかけていくべきでないかと考えるが、このような予算になった理由は何か？ (泉山会員)

回答 1-1 平成 22 年度は 10 周年記念行事活動のため機関紙等発行事業の費用がかさんだ。この分をさし引き経常的なレベルに戻した予算を立てた。教育費についてはセミナーなどの回数を増やすことを前提に予算化した。考え方は、会員の皆様に PE 資格更新に必要な PDH を必ず提供できるようにするというものである。関連する調査費用については、実行の過程で柔軟に検討し、必要な費用を掛け、結果として決算時に変動が有りうることはご理解いただきたい。(土屋理事)

- ・ 議長が第 2 号議案の承認を求めたところ、賛成多数で承認可決された。

以上をもって、議案全部の審議を終了したので、議長は午前 14 時 26 分閉会を宣し、散会した。

7 議事録署名人の選任に関する事項

上記の議決を明確にするため、議事録を作成し、定款第30条の規定により、議長及び議事録署名人2名が記名捺印する。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2011年6月20日

議長

土屋 雅彦

議事録署名人

木村 一夫

議事録署名人

平山 剛士

